

2019年9月30日

報道機関 各位

「グローバル・ハタラクラスぐんま (GHKG)」プロジェクト (※) GHKG【地域対応型】インターンシップ in 沼田市 が始まります

※文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」。全国で12大学が選定され、本学では、「地方型」留学生定着モデルの構築を提案し、県内10高等教育機関と32の機関・団体との産学官金連携によるオール群馬の取組を推進しています。

【本件のポイント】

県内10大学で構成する「グローバル・ハタラクラスぐんま(GHKG)」プロジェクトでは、沼田市と連携し、10月1日から県内の留学生・日本人学生16名のインターンシップ生を受入れていただき、GHKG【地域対応型】インターンシップを実施することとなりました。つきましては、下記のとおり記者発表を行いますので、当日の取材並びに報道につきまして、ご配慮くださいますよう、よろしくお願いいたします。

実施日及び場所

インターンシップ 記者発表

期 間：令和元年10月1日(火) 9時30分

場 所：TERRACE 沼田4階 応接室

出席者：沼田市長 横山公一氏 取組関係事業者

群馬大学教授 結城恵 (「GHKG 企画・運営担当」)

GHKG プログラム生 張麗雲 (高崎経済大学地域政策学部2年生)

GHKG パートナー生 原田大幹 (群馬大学社会情報学部3年生)

内 容：沼田市とGHKGの連携発表、インターンシップ事業概要説明 他

・GHKG【地域対応型】インターンシップとは、「地域」を想定し、その「地域」が目標としている具体的なテーマで、産業の地域における持続可能性とグローバル展開に、留学生を活用する2週間の課題解決型インターンシップです。

・沼田市から提示された課題は、中国成都の展示即売会に参加する市内事業者のうち、特に本プロジェクトの連携を希望する3社を対象とし、3班体制、1班1事業者で、実際に企業へ取材を行い、11月の中国成都販売展示即売会に向けた外国語対応(中国語など)のPR動画を作成することです。

・参加学生 (いずれも所定の講義・実習等を終えて参加)

GHKGプログラム生(留学生) 11名

GHKGパートナー生(日本人学生) 5名

・受入機関 沼田市「光工芸有限会社(段ボール玩具など)」

「吉澤指物店(沼田指物)」「丸山下駄製造所(桐下駄)」

・スケジュール

10月～11月の2週間。土日・祝日を中心に、連携企業と日程を調整。

※ご取材いただける場合は、事前にGHKG推進室事務局へご連絡ください。



【お問い合わせ先】

本インターンシップの企画・担当 結城 恵 (群馬大学 大学教育学生支援機構)

取材連絡先 グローバル・ハタラクラスぐんまプロジェクト(GHKG)推進室事務局(群馬大学国際課)

TEL:027-220-7635(7632) E-mail:ghkg_office@jimu.gunma-u.ac.jp 当日連絡先 080-2242-7998